

I 次の文章を読み、それに続く問1～8に答えよ。

2世紀には、ユーラシア大陸の東西に大帝国が繁栄し、両者をつなぐ陸路と海路が成立した。⁽¹⁾ モンゴル高原では鮮卑，中央アジア・南アジア・西アジアでは3つの王朝が中継貿易の利⁽²⁾を得るなどして栄えた。インドシナ半島では港市国家が勃興し⁽³⁾，日本列島は弥生時代末期をむかえた。3世紀から9世紀にいたるユーラシア世界においては，古代帝国が変質あるいは解体に向かい，新たな帝国が成立した。この間に唐帝国は最盛期を経て衰退期に移り⁽⁴⁾，アッバース朝イスラーム帝国がウマイヤ朝にかわって繁栄した。⁽⁵⁾ ローマ帝国はビザンツ帝国に変容し，西方ではフランク王国がローマ教会との連携を深めた。⁽⁶⁾ 三国時代にあった朝鮮半島は，新羅によって統一された。⁽⁷⁾ 8世紀初頭まで倭とよばれていた日本は，中国の影響を大きく受けた。⁽⁸⁾

問1 下線部(1)について，ローマ帝国の最大の版図を実現した皇帝として正しいものを次の①～⑤のなかからひとつ選び，その番号をマークせよ。

1

- ① トラヤヌス帝
- ② カラカラ帝
- ③ テオドシウス帝
- ④ マルクス=アウレリウス=アントニヌス帝
- ⑤ コンスタンティヌス帝

問2 下線部(2)について，2世紀におけるこの3つの王朝に関する次の①～④の記述のうち，正しいものをひとつ選び，その番号をマークせよ。

2

- ① サータヴァーハナ朝は，デカン高原からインド東部にかけて支配領域を有し，中国の北宋とも交易をおこなった。
- ② マウリヤ朝はチャンドラグプタ王のとき最盛期をむかえ，仏典の結集（編纂）や各地への布教がおこなわれた。
- ③ クシャーナ朝はカニシカ王のとき最盛期をむかえ，中央アジアからガンジス川中流域にいたる地域を支配した。
- ④ アルサケス朝パルティアは，ササン朝ペルシアをやぶって成立し，イラン・メソポタミア一帯を支配する大国となった。

問3 下線部(3)の港市国家に関する次の a, b の記述の正誤の組合せ①～④のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

3

a 東南アジア最古の国家とされる扶南はイラワディ川下流域に成立し、ベンガル湾岸からマレー半島南部まで交易ネットワークを広げた。

b ベトナム中部にチャム人がたてた林邑（チャンパー）はインドと中国南部との中継貿易で栄えた。

- ① aもbも正しい
- ② aのみ正しい
- ③ bのみ正しい
- ④ aもbも誤りである

問4 下線部(4)に関連する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

4

① 太宗（李世民）は、華北と江南をむすぶ大運河を完成させて、南北の結合を強化した。

② 玄宗は、貞観の治とよばれる国政改革につとめたが、トルコ系のウイグル（回紇）による安史の乱をまねいた。

③ 高宗は、朝鮮半島や中央アジアに進出して、唐の最大版図を実現した。

④ 煬帝は、学科試験による官吏登用法（科挙）を導入して貴族の勢力をおさえ、中央集権化をはかった。

問5 下線部(5)の勢力が最盛期になったときにその版図に入っていない都市を次の①～⑥のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

5

- ① アレクサンドリア
- ② イエルサレム
- ③ メディナ
- ④ バグダード
- ⑤ コルドバ
- ⑥ ダマスクス

問6 下線部(6)に関連して、フランク王国の分裂にいたる過程に関する次の①～⑤の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

6

- ① メルセン条約により、フランク王国は東フランク、西フランク、中部フランクの3つに分かれた。
- ② ヴェルダン条約により、中部フランクの北部は東フランク・西フランクに分割・併合された。
- ③ 東フランクではカロリング家の家臣のオットー1世が、962年にローマ教皇から西ローマ皇帝の位を与えられ、これが神聖ローマ帝国の起源となった。
- ④ カロリング家の血筋が断絶した西フランクでは、パリ伯ユーグ=カペーがフランス国王に選出された。
- ⑤ 中部フランクの南部ではマジヤール人やイスラーム勢力の侵入をはね返して、イタリア王国が統一を完成させた。

問7 下線部(7)に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

7

- ① 朝鮮半島西南部では辰韓が統一されて百済がおこった。
- ② 高句麗は、南下して楽浪郡を滅ぼし、朝鮮半島北部を支配した。
- ③ 朝鮮半島南東部の馬韓が統一されて新羅がおこった。
- ④ 朝鮮半島中南部に存在した加耶（加羅）諸国は独立を貫いた。

問8 下線部(8)に関連する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

8

- ① 唐・高句麗の連合軍と百済の対立が激化し、倭は後者を応援したが、白村江の戦いで敗退した。
- ② 卑弥呼は魏に使者を送って貢ぎ物を献じ、皇帝から「親魏倭王」の称号を与えられた。
- ③ 倭は隋・唐と冊封関係をむすび、遣隋使・遣唐使を派遣して中国文明を輸入し、律令制度を導入した。
- ④ 倭は唐の制度・文化を摂取して律令制をしき、骨品制によって王族・官僚貴族の身分を厳格に定めた。

II キリスト教に関する次の問1～10に答えよ。

問1 ローマ帝国に関する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

9

- ① カルケドン公会議では、三位一体説が異端とされた。
- ② キリスト教の信仰は、ミラノ勅令によって公認された。
- ③ ナザレの人イエスは、ユダヤ教の律法主義と祭司たちの墮落を批判した。
- ④ 多神教信仰の復興を目指したユリアヌス帝は、のちに「背教者」とよばれた。

問2 ゲルマン諸国家に関する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

10

- ① 移動前のゲルマン人にはアリウス派のキリスト教を信仰する者がいた。
- ② グレゴリウス1世は、ブリタニアやゲルマン諸国への布教を推進した。
- ③ クローヴィスはカロリング朝を開いてフランクを統合し、カトリックに改宗した。
- ④ ピピンはランゴバルド王国からラヴェンナ周辺の地を奪い、それを教皇に寄進した。

問3 中世の教会をめぐる動きに関する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

11

- ① 「カノッサの屈辱」で教皇に謝罪したのは、フリードリヒ1世である。
- ② クリュニー修道院は、10世紀なかごろ以降、教会内の改革運動を推進した。
- ③ フランチェスコ会とドミニコ会はいずれも托鉢修道会である。
- ④ ベネディクトゥスは、イタリアのモンテ=カッシーノに修道会を創設した。

問4 十字軍運動に関する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

12

- ① 神聖ローマ皇帝フリードリヒ2世は、外交交渉によりエルサレムを一時的に回復した。
- ② 聖地巡礼の保護を目的として、ヨハネ騎士団などの修道騎士団が結成された。
- ③ 南ドイツのカタリ派を弾圧するために、神聖ローマ皇帝はアルビジョワ十字軍を派遣した。
- ④ レコンキスタ運動は、イベリア半島におけるイスラーム勢力に対しておこなわれた。

問5 教皇権の動揺に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

13

- ① イングランドのウィクリフは聖書の尊重を唱え、ローマ教会の位階制と教皇の権威を否定したため、コンスタンツ公会議に召喚され、異端として火刑に処された。
- ② 教会大分裂を收拾するために開催され、最終的にローマの教皇を正統と決定して教会大分裂を收拾したのは、ニケーア公会議であった。
- ③ フランス王フィリップ4世は国内の聖職者にも課税しようとして、これに反発するローマ教皇ボニファティウス8世と争った。
- ④ シチリアのフスはローマ教会の権威を否定して火刑に処されたため、フスを支持する民衆によるフス戦争が勃発した。

問6 神学と大学に関する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

14

- ① イングランドでは、パリ大学を模範に創設されたケンブリッジ大学と、そこからわかれてできたオクスフォード大学が、独自の学寮（コレッジ）制を基に発展した。
- ② トマス=アキナスは、13世紀なかばに『神学大全』を著し、信仰と理性の調和につとめた。
- ③ 唯名論にたつウィリアム=オブ=オッカムは、信仰と理性の明確な分離を唱え、近代合理思想の基礎を築いた。
- ④ ローマ教会の神学は、12世紀ルネサンスで復興したアリストテレス哲学と結びつくことで、壮大な体系をもつスコラ学に発展した。

問7 宗教改革に関する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

15

- ① カトリック教会は宗教改革に対抗するため、トリエント（トレント）公会議を開いて、教皇の至上権を再確認するとともに、宗教裁判所を強化して思想統制をおこなった。
- ② ザクセンのヴィッテンベルク大学神学教授マルティン=ルターは、『九十五カ条の論題』を発表して、贖宥状（免罪符）の悪弊を攻撃した。
- ③ 1555年のアウクスブルクの宗教和議では、諸侯にカトリックカルター派かどちらを選ぶかの選択権が与えられた。
- ④ フッガー家出身の教皇レオ10世は、ローマのサン=ピエトロ大聖堂の改築資金を調達するために贖宥状（免罪符）の販売を許可した。

問8 フランスにおける宗教騒乱に関する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

16

- ① ユグノー戦争中に起こったサンバルテルミの虐殺事件は、ブルボン家のアンリ（後のアンリ4世）の結婚式が契機となった。
- ② ユグノーのアンリ4世は即位後に自らカトリックに改宗し、ナントの王令を発してユグノーに大幅な信教の自由を与えて、ユグノー戦争を終結させた。
- ③ ルイ13世の宰相マザランはユグノーや貴族をおさえ、王権を強化した。
- ④ ルイ14世がナントの王令を廃止したことで、ユグノーの商工業者が多数亡命しフランスの国内産業の発展は阻害された。

問9 三十年戦争に関する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

17

- ① カトリックのフランスが、ハプスブルク家に対抗するため、新教側に立って参戦したことから、戦争の性格は宗教戦争からヨーロッパの覇権をめぐる国際戦争へと転化した。
- ② 三十年戦争は、ハプスブルク家のカトリック強制に反発したザクセンの反乱に端を発し、やがて国際的な宗教戦争と化した。
- ③ 多年にわたる戦争の舞台となったドイツは、人口が激減して荒廃し商工業の発達は大いに遅れたが、戦禍をあまり受けなかった北東ドイツのプロイセンが急速に台頭することとなった。
- ④ ルター派のデンマーク王やスウェーデン王グスタフ＝アドルフが、新教徒支援を名目としてドイツに侵入し、ヴァレンシュタインひきいる神聖ローマ帝国軍と戦った。

問10 イギリスの宗教に関する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

18

- ① スペインのフェリペ2世と結婚したメアリ1世は、カトリックの復活をはかったが、エリザベス1世が統一法を制定して、イギリス国教会が確立した。
- ② ピューリタン革命後の王政復古で即位したチャールズ2世がカトリックを保護して専制政治をおこなったため、議会は審査法を制定したが、この法は19世紀に廃止された。
- ③ ヘンリ8世は王妃との離婚問題を機に国王至上法を定め、国王がイギリス国内の教会の首長であると宣言し、さらに議会の反対を押し切って修道院を廃止して、その土地財産を没収した。
- ④ ワット=タイラーの乱を思想的に指導したジョン=ボールは、「アダムが耕しイヴが紡いだとき、だれが貴族であったか」と説き、社会的不平等を批判した。

Ⅲ 次のオランダに関するA・Bの文章を読み、それに続く問1～15に答えよ。

A アルプスに発する（ 1 ）川は、現在のドイツとフランス間の国境地帯を流れたのち、下流域ではオランダを通過して北海に流れ込む。この川の下流域はネーデルラント（低地地方）と呼ばれ、かつては湿地帯が広がっていた。ヨーロッパで湿地帯に築かれた都市としては、他に「アドリア海の女王」と呼ばれ、東方貿易で栄えた（ 2 ）の例が有名である。いずれも、深く木材を打ち込み、その上に礎石と建物をのせ、運河を張りめぐらせて都市が作られた。ネーデルラントは農牧業や毛織物業、さらには北海・バルト海での中継貿易にたずさわようになって繁栄し、中世末までに西ヨーロッパにおける経済先進地域の一つとなった。

そのネーデルラントは、15世紀後半にハプスブルク家の所領となった。16世紀の宗教改革はこの地にもおよび、カトリック政策をとる君主カール5世とフェリペ2世は、この地のプロテスタントを弾圧し、彼らの自治権と商工業に大幅な制限を加えた。市民らはこうした措置に激しく抵抗し、フェリペ2世治下の1568年には（ 5 ）公ウィレムを指導者としてオランダ独立戦争が勃発した。その前後に商工業者の多いプロテスタント住民が南部から北部に移住したため、毛織物業の中心が移動し、国際商業と金融の中心もアントウェルペンから（ 7 ）に移った。フェリペ2世はその後もオランダの屈服を図ったが、彼の死後、1609年になって休戦条約が締結され、オランダは事実上の独立を達成した。独立の国際的承認は、1648年のウエストファリア条約で果たされた。

問1 （ 1 ）に入る語として正しいものを次の①～⑥のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

19

- ① エルベ
- ② セーヌ
- ③ テムズ
- ④ ドナウ
- ⑤ ライン
- ⑥ ロレーヌ

問2 (2)に入る語として正しいものを次の①～⑥のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

20

- ① ヴェネツィア
- ② カレー
- ③ コリントス
- ④ ジェノヴァ
- ⑤ ニース
- ⑥ ハンブルク

問3 下線部(3)に関連して、この家についての次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

21

- ① カルロス1世がフランスのフランソワ1世をおさえて神聖ローマ皇帝（カール5世）に即位すると、イタリアの都市共和国やイングランド、さらにはオスマン帝国のスレイマン1世もフランス側についた。
- ② ナポレオン3世は、南北戦争のすきをついてアメリカ大陸への進出をねらい、スペインのハプスブルク家からマクシミリアンをメキシコ皇帝にすえた。
- ③ ハプスブルク家の帝位継承者夫妻がベオグラードで暗殺され、オーストリアがセルビアに宣戦を布告すると、またたく間に各国が参戦して、第一次世界大戦に拡大した。
- ④ マリア=テレジアは、長年にわたって敵対してきたフランスと同盟して、ボスニア・ヘルツェゴヴィナの奪回をはかったため、七年戦争がおこった。

問4 下線部(4)に関連して、この語に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

22

- ① カルヴァン派は長老制度を廃止して、司教制を導入した。
- ② ツヴィングリは、スイスのジュネーヴで改革運動に従事した。
- ③ ネーデルラントのカルヴァン派は、ゴイセンとよばれた。
- ④ プロテスタントという語は、イギリス国教会の創設に反対した人々に由来する。

問5 (5)に入る語を次の①～⑥のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

23

- ① オラニエ
- ② ザクセン
- ③ プファルツ
- ④ フランドル
- ⑤ ブルゴーニュ
- ⑥ ノルマンディー

問6 下線部(6)に関連して、この独立戦争について述べた次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

24

- ① 南部は独立戦争からは離脱したが、スペイン領にはとどまらずフランスと連携した。
- ② 南部はほぼ現在のベルギーにあたる地域である。
- ③ 北部は1581年にネーデルラント連邦共和国（オランダ）の独立を宣言した。
- ④ 北部はユトレヒト同盟を結んで、南部が離脱した後も抵抗を続け、独立を達成した。

問7 (7)に入る都市を次の①～⑥のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

25

- ① アムステルダム
- ② ブリュージュ
- ③ ガン
- ④ デルフト
- ⑤ ブリュッセル
- ⑥ ロッテルダム

問8 下線部(8)に関連して、この条約の内容について述べた次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

26

- ① アウクスブルクの宗教和議の原則が再確認され、カルヴァン派も公認された。
- ② スイスの独立が正式に承認された。
- ③ デンマーク王国が西ポーンメルンなどに領土を獲得して、北ヨーロッパの大国となった。
- ④ ドイツの領邦君主に、ほぼ完全な主権が認められた。

B 世界初ともいふべき近代的な株式会社は、オランダ発祥といわれる。1595年、(7) の大商人9人が共同出資した商船隊を初めてアジアに送った。国家財政を背景に世界進出を進めたポルトガルやスペインとは異なり、オランダは資金調達の方法として共同出資方式を用いたのである。この派遣の成功により多くの貿易会社が設立され、遠くインドネシアのマルク(モルッカ)諸島などから高級香料を買い付けて、莫大な利益をあげるようになった。国は過当競争による利益の低下を防ぐため、1602年にこれらの会社を統合させて独占的な特許会社、オランダ連合東インド会社(VOC)を結成した。VOCは、条約締結権、海外領と軍隊の保持、さらに交戦権なども任された。VOCはジャワ島のジャヤカルタ(ジャカトラ)を奪い政庁を置き、オランダの古名にちなんで(9)と命名し、アジア貿易の拠点とし、後のオランダ領東インド植民地の基礎を固めた。1652年には本国と(9)を結ぶ中継地・補給地として、南アフリカにケープ植民地を築いて入植者を送り、1658年にはスリランカも確保した。

⁽¹⁰⁾
ほぼ同じ時期にイギリスやフランスも世界貿易に参入し、大航海時代に本格化した「世界の(11)一体化」はさらに促進された。それは、アジア方面では、すでにインド洋から南シナ海、東シナ海にいたる海域に形成されていたアジアの交易網に西ヨーロッパ諸国が参入し、その利を相互に奪い取る競争でもあった。西ヨーロッパでは世界商業に沸いた16世紀にかわり「危機の17世紀」が訪れたが、そうしたなかであっても、オランダだけは未曾有の経済的繁栄を享受し「黄金の世紀」を迎えた。

一方、東アジアでは、中国北部でタタールの(12)が交易を求めて明を圧迫し、明は長城を修築するなどその対応に追われた。中国南部ではヨーロッパ勢力が入ってきた16世紀に従来の貿易秩序だった海禁=朝貢体制が崩れ始め、東シナ海沿海の民間商人が武装して密貿易をおこなうようになった。後期倭寇とよばれるこうした商業軍事勢力が競い合う活況がうまれていた。南北で貿易の利を求める勢力が、明による統制政策を打破しようとする動き(北慮南倭)であった。こうした状況を打開するため、明は北方では1571年に(12)と和解し、南方では海禁を緩め、海上貿易の活力を取り入れることにした。これにより沿海部における商工業は活性化し、大量に流れ込んだ銀が重要な役割を担う状況がうまれた。当時、海域アジアで流通し、中国に流れ込んだ銀には二種類あった。⁽¹³⁾一つは日本銀で、もう一つがメキシコ銀である。

既にポルトガル人は1557年に(14)での居住権を認められていて、そこから長崎に中国産の生糸をもちこみ、日本銀を持ち帰る貿易で利を上げていた。VOCもこれに強い関心を持ち、平戸に進出して海域アジアでの貿易に参入した。しかし、中国貿易をさらに推進するためには、平戸は最適な場所とはいえず、1620年代に台湾にゼーランディア城を築いて中国貿易の独占を図ったが、1661年には明の「遺臣」(15)により、VOCは台湾から放逐された。

結局、中国に拠点を持たないVOCは、需要の大きい中国商品の供給を中国商人に依存し続けた。17世紀後半から、VOCはジャワ島でのコーヒーやサトウキビのプランテーション経営

に軸足を移し、内陸での植民地支配を強化するようになったが、その際の領土獲得のために費やした戦費などにより会社の経営は急速に悪化し、1799年に解散することとなった。

問9 (9)に入る語として正しいものを次の①～⑥のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。 27

- ① アチェ
- ② ジャカルタ
- ③ マタラム
- ④ マラッカ
- ⑤ バタヴィア
- ⑥ バンテン

問10 下線部(10)に関連して、この植民地について述べた次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。 28

- ① オランダ人入植者の子孫は北方に移住して、トランスヴァール共和国・オレンジ自由国をたてた。
- ② ケープ植民地は、イギリス帝国内の自治領として20世紀に発足した南アフリカ連邦の中心となった。
- ③ 南アフリカのケープタウンとエジプトのカイロ、そしてインドのカルカッタ（コルカタ）を結ぼうとするイギリスの政策は、3C政策とよばれる。
- ④ ヨーロッパが七年戦争にあった混乱期に、ケープ植民地はイギリスにより占領され、パリ条約でイギリスに割譲された。

問11 下線部(11)に関連して、この時期の情勢について述べた次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。 29

- ① イギリスとフランスはともにオランダに対抗したが、名誉革命で同君連合となったイギリスとオランダは、フランスの強大化を阻止する政策に転じた。
- ② オランダはアンボン（アンボイナ）事件で、ポルトガル勢力をインドネシアから排除することに成功した。
- ③ オランダはクローヴやナツメグの産地を確保するために、ポルトガル・イギリスなどと争奪戦を展開し、インドネシアにおける優位を確立した。
- ④ 北米にオランダが築いたニューネーデルラント植民地は、イギリス=オランダ戦争の結果、イギリスに割譲された。

問12 (12) に入る人物として正しいものを次の①～⑥のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

30

- ① アルタン=ハン
- ② ガザン=ハン
- ③ ソンツェン=ガンボ
- ④ ダライ=ラマ
- ⑤ ツォンカパ
- ⑥ ヌルハチ

問13 下線部(13)に関連して、このころの銀の世界流通に関して述べた次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

31

- ① 新大陸産の銀は当初ヨーロッパに大量に出回り、価格革命と呼ばれる現象をひきおこした。
- ② スペイン人はマニラでアジアの産物を購入して、本国に送った。
- ③ メキシコ銀と日本銀の中国への流入は、明代の地丁銀制を可能にした。
- ④ メキシコのアカプルコ港とマニラを結ぶ貿易は、アカプルコ貿易と呼ばれる。

問14 (14) に入る地名として、正しいものを次の①～⑥のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

32

- ① 広州
- ② 杭州
- ③ 上海
- ④ 福州
- ⑤ 香港
- ⑥ マカオ

問15 (15) に入る人物として、正しいものを次の①～⑥のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

33

- ① 呉三桂
- ② 徐光啓
- ③ 鄭成功
- ④ 鄭和
- ⑤ 李元昊
- ⑥ 李自成

Ⅳ ロシア史に関する次の文章を読み、それに続く問1～10に答えよ。

ロシアの地では、9世紀に毛皮交易の中心地に がつくられ、さらに南には が形成された。 は11世紀に領土を拡大させたものの、貿易路が東方遊牧民の侵入で衰退すると、大土地所有制と農奴制が進展して諸侯が分立し、13世紀にはモンゴル人の 国の支配下に入った。その後、ヴォルガ川支流の水陸交通の要衝にあつて発展した が、15世紀後半に 国からの独立を達成した。

16世紀になると の は、大貴族をおさえて中央集権化をすすめて、農民の移動を禁じて農奴制を強化した。ギリシア正教の擁護者となった は、全ロシアの君主として正式にツァーリの称号を用いた。17世紀初めにはミハイル＝ロマノフが中小の領主や商人たちの支持を得て即位し、ロマノフ朝を開いた。17世紀後半に即位した は、自らオランダやイギリスなどの先進国を視察し、徹底的な西欧化政策をとり、工業の育成や官僚制の整備をはかった。18世紀後半の は啓蒙専制君主として知られる。ウィーン体制下においてロシア皇帝はポーランド王を兼ね、ベッサラビアとフィンランドを確保し続けた。ロシアはその後クリミア戦争で敗北すると、一連の改革がおこなわれ、1861年には農奴解放令が出された。 1890年代になると、露仏同盟の締結を背景にフランスなどから資本が導入され、重工業を中心とした工業化が推進された。他方で帝政批判も強まり、ツァーリの政府は日露戦争によって国内の不满をそらそうとしたが、逆に戦争はロシア経済の基盤の弱さを暴露した。このような状況のなかいわゆる第1次ロシア革命がおこった。その後1917年のロシア二月革命(三月革命)、ロシア十月革命(十一月革命)をへて、1922年にはロシアを含む4共和国からなるソヴィエト社会主義共和国連邦(ソ連)が成立した。

1990年には、ゴルバチョフが憲法を改正して複数政党制を導入し、自ら大統領として市場経済への移行などの改革に着手した。1991年、ロシア共和国の大統領となったエリツィンは、ゴルバチョフ体制を批判し、ロシアのソ連からの独立を主張した。同年末に、ロシアやウクライナはソ連の消滅を宣言し、独立国家共同体(CIS)の創設を決めた。1999年末にエリツィンが辞任すると、2000年の選挙でプーチンが後継者に選ばれ、「強いロシア」の再建を主張して独自の政策をすすめている。

問1 文中の , , に入る国名の組合せとして正しいものを次の①～⑥のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

- ① a : モスクワ大公国 b : ノヴゴロド国 d : キエフ公国
- ② a : モスクワ大公国 b : キエフ公国 d : ノヴゴロド国
- ③ a : ノヴゴロド国 b : モスクワ大公国 d : キエフ公国
- ④ a : ノヴゴロド国 b : キエフ公国 d : モスクワ大公国
- ⑤ a : キエフ公国 b : ノヴゴロド国 d : モスクワ大公国
- ⑥ a : キエフ公国 b : モスクワ大公国 d : ノヴゴロド国

問2 文中の に入る語として正しいものを次の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

- ① チャガタイ=ハン
- ② キプチャク=ハン
- ③ イル=ハン
- ④ オゴタイ=ハン

問3 下線部(1)について、この時代におきた事柄として正しいものを次の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

- ① アラゴン王子フェルナンドとカスティリヤ王女イサベルの結婚から、両国が合併してスペイン王国が誕生した。
- ② フランスのジャックリーの乱など、はげしい農民一揆がおこった。
- ③ レパントの海戦で、オスマン艦隊がスペイン・ヴェネツィア・ローマ教皇などの連合艦隊にやぶれた。
- ④ フランス人の教皇クレメンス5世が国王フィリップ4世の支配下に入り、以後69年間にわたり教皇庁がローマからアヴィニョンに移った。

問4 文中の e , f , g に入る人物の組合せとして正しいものを次の①～⑥のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

37

- ① e : エカチェリーナ 2 世 f : イヴァン 4 世 g : ピョートル 1 世 (大帝)
- ② e : エカチェリーナ 2 世 f : ピョートル 1 世 (大帝) g : イヴァン 4 世
- ③ e : ピョートル 1 世 (大帝) f : エカチェリーナ 2 世 g : イヴァン 4 世
- ④ e : ピョートル 1 世 (大帝) f : イヴァン 4 世 g : エカチェリーナ 2 世
- ⑤ e : イヴァン 4 世 f : ピョートル 1 世 (大帝) g : エカチェリーナ 2 世
- ⑥ e : イヴァン 4 世 f : エカチェリーナ 2 世 g : ピョートル 1 世 (大帝)

問5 下線部(2)に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

38

- ① ミール (農村共同体) は解体された。
- ② 農民は封建的支配から無償で解放されて、土地所有者となった。
- ③ 旧来の土地を失うことになった貴族層は首相ストルイピンに補償を求めた。
- ④ この解放令を発布したのは皇帝アレクサンドル 2 世である。

問6 下線部(3)に関する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

39

- ① 開戦前、極東におけるロシアの南下に対抗するため、日英同盟が結ばれた。
- ② 日本海海戦では、日本海軍がロシアのバルチック艦隊を撃破した。
- ③ アメリカ合衆国のフランクリン=ローズヴェルトの調停により、講和会議が開かれた。
- ④ ポーツマス条約の結果、日本は韓国に対する指導・監督権、遼東半島南部の租借権などを得た。

問7 下線部(4)に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

40

- ① ロシア共産党を立ち上げたレーニンは、全ロシア=ソヴィエト会議を開催した。
- ② 「平和に関する布告」や「土地に関する布告」が採択された。
- ③ 立法権をもつドゥーマとよばれる国会が開設された。
- ④ 皇帝ニコライ 2 世は処刑された。

問8 下線部(5)に関連して、ゴルバチョフが関わった事柄として誤っているものを次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

41

- ① グラスノスチ
- ② ペレストロイカ
- ③ 中距離核戦力（INF）全廃条約
- ④ マルタ会談
- ⑤ プラハの春

問9 下線部(6)に関して、創設時にこの共同体に加盟しなかった国を次の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

42

- ① ラトビア共和国
- ② ベラルーシ共和国
- ③ カザフスタン共和国
- ④ アゼルバイジャン共和国

問10 下線部(7)に関して、プーチンの政策に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

43

- ① アフガニスタンに軍事侵攻をおこなって、親ロシア的な政権を樹立した。
- ② クリミア半島の併合を強行して、国際的な対立をまねいた。
- ③ 本格的な軍縮路線を含む「新思考外交」を展開し、NATOに加盟した。
- ④ 第1次・第2次戦略兵器削減条約に署名した。

V 中近東の現代史に関する次の問1～7に答えよ。

問1 第一次世界大戦中の中近東に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。 44

- ① イギリス・フランス・ドイツはサイクス・ピコ協定により、戦後のオスマン帝国の扱いを定めた。
- ② イギリスはフセイン（フサイン）・マクマホン協定によってアラブ人にオスマン帝国からの独立を約束する一方で、バルフォア宣言によってユダヤ人のシオニズムを援助する姿勢を見せた。
- ③ イブン=サウードは、イギリスの支援を得てアラビア半島の大部分を統一してサウジアラビア王国を建設した。
- ④ オスマン帝国は第一次世界大戦で連合国（協商国）側について戦ったが、やぶれて同盟国と休戦条約を締結した。

問2 トルコ革命に関する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。 45

- ① スルタン制とカリフ制が廃止された。
- ② アラビア文字が廃止され、ラテン文字（ローマ字）が採用された。
- ③ トルコ共和国の首都はアンカラにおかれた。
- ④ 政教分離が廃止された。

問3 第二次世界大戦直後の中近東に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。 46

- ① イラク王国がイギリスの委任統治から離れて独立した。
- ② シリアがフランスの委任統治から離れて独立した。
- ③ レザー=ハーンがイランにパフレヴィー朝をたてた。
- ④ アフガニスタンがイギリスから独立した。

問4 第1次中東戦争（パレスチナ戦争）に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

47

- ① 国連のパレスチナ分割案にもとづいて建国したイスラエルとこの建国を認めないアラブ諸国の間に戦端が開かれた。
- ② 国連の調停によってイスラエル建国が認められると、パレスチナから追放された100万人以上のパレスチナ人は難民となり、ガザ地区とヨルダン川西岸に自治区を形成した。
- ③ エジプト革命によって成立したエジプト共和国はスエズ運河の国有化を宣言し、イスラエル・イギリス・フランスのエジプト侵攻をまねいた。
- ④ パレスチナ難民はイスラエル政府に抗議するためにインティファダとよばれる抵抗運動を開始した。

問5 第3次中東戦争に関する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

48

- ① この戦争はイスラエルとエジプト・シリア・ヨルダンとの間の戦いであった。
- ② この戦争中、イスラエル軍はゴラン高原を占領した。
- ③ この戦争中、イスラエル軍はシナイ半島を占領した。
- ④ エジプトのナセル大統領は、戦後イスラエルとの間に平和条約を結んだ。

問6 1970年代の中近東に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

49

- ① エジプト・サウジアラビア連合軍とイスラエルの間には第4次中東戦争がおこった。
- ② トルコ・イラク・イラン・パキスタン・イギリスがバグダード条約機構を結成した。
- ③ アラブ産油国による石油戦略の結果、第1次石油危機がおこった。
- ④ イラン革命がおこり、宗教指導者ホメイニを退けてパフレヴィー2世が実権をにぎった。

問7 21世紀に入ってから中近東でおきた事柄として正しいものを、次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

50

- ① サダム=フセイン政権崩壊
- ② パレスチナ暫定自治政府の成立
- ③ クウェート侵攻
- ④ 湾岸戦争
- ⑤ イラン=イラク戦争